

# アンケート調査結果の概要

## 1 障がい者などへのアンケート調査

### 1. 調査の目的

本市における障がい者の状況等を踏まえた障害者計画や障害福祉計画、障害児福祉計画の策定に関する基礎資料とするため、市内の障がい者や障がい児などを対象とするアンケート調査を実施しました。

### 2. 調査の方法

アンケート調査の方法（調査設計）は次のとおりです。

調査対象	障がい者	難病患者	障がい児	発達障がい児	障がいがない人
対象者数	1,800 人	200 人	100 人	100 人	1,000 人
抽出方法	・障がい者（身体障がい・知的障がい・精神障がい）及び難病患者、障がい児、発達障がい児については、障害者手帳、特定医療費（指定難病）受給者証、スマイルブック所持者等から無作為抽出 ・障がいがない人については、住民基本台帳から無作為抽出				
調査時期	令和元年 10 月 1 日～10 月 25 日（調査基準日：令和元年 10 月 1 日）				
調査方法	郵送による送付・回収				

### 3. 配布・回収状況

アンケート調査の配布・回収の状況は次のとおりです。

	障がい者	難病患者	障がい児	発達障がい児	障がいがない人
配布数	1,800 件	200 件	100 件	100 件	1,000 件
回収数	1,074 件	112 件	49 件	48 件	445 件
	有効	1,026 件	111 件	49 件	439 件
	無効	48 件	1 件	0 件	6 件
有効回収率	57.0%	55.5%	49.0%	47.0%	43.9%

## 2 アンケート調査結果の概要

アンケート調査結果から、主な設問と障がい種別等に分けた回答のうち、上位 3 位までの回答を掲載します。

### （１）外出時に困ること（複数回答・「特にない」を除く）

身体障がい者や知的障がい者、重複障がい者、障がい児では「介助者がいないと外出が困難」が最も多く、精神障がい者では「人の目が気にかかる」、発達障がい児では「まわりとのコミュニケーションがとれない」が最も多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	介助者がいないと外出が困難	道路の段差や階段などのバリアが多い	交通費の負担が大きい
知的障がい者	介助者がいないと外出が困難	まわりとのコミュニケーションがとれない	乗り物や公共的施設の案内表示がわかりにくい
精神障がい者	人の目が気にかかる	車などに危険を感じる	まわりとのコミュニケーションがとれない
重複障がい者	介助者がいないと外出が困難	道路の段差や階段などのバリアが多い	電車・バスなどが使いにくい
難病患者	交通費の負担が大きい	電車・バスなどが使いにくい	道路の段差や階段などのバリアが多い
障がい児	介助者がいないと外出が困難	車などに危険を感じる	まわりとのコミュニケーションがとれない
発達障がい児	まわりとのコミュニケーションがとれない	人の目が気にかかる	車などに危険を感じる

### （２）健康や医療に関して困ること（複数回答・「特にない」を除く）

全体的に「食事や生活のコントロールが難しい」や「医師や看護師にうまく説明ができない」が多く、精神障がい者では「障がいを理解してくれる人がいない」、発達障がい児では「病院等での待ち時間が待てない」が多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	食事や生活のコントロールが難しい	医療費や交通費の負担が大きい	医師や看護師にうまく説明できない
知的障がい者	医師や看護師にうまく説明できない	食事や生活のコントロールが難しい	病院等での待ち時間が待てない
精神障がい者	医師や看護師にうまく説明できない	障がいを理解してくれる人がいない	食事や生活のコントロールが難しい
重複障がい者	医師や看護師にうまく説明できない	食事や生活のコントロールが難しい	病院等での待ち時間が待てない

難病患者	医療費や交通費の負担が大きい	食事や生活のコントロールが難しい	医師や看護師にうまく説明できない
障がい児	専門的な治療を行う医療機関が近くにない	食事や生活のコントロールが難しい	病院等での待ち時間が待てない
発達障がい児	病院等での待ち時間が待てない	医師や看護師にうまく説明できない	食事や生活のコントロールが難しい

### （３）就労促進に必要な支援（複数回答・「特にない」を除く）

障がいの種別に関わらず、障がいがない人も含めて「事業主や職場の仲間の理解と協力」をあげる人が多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	事業主や職場の仲間の理解と協力	障がい者に配慮した職場の施設・設備の整備	障がいの特性や程度にあった仕事の提供
知的障がい者	障がいの特性や程度にあった仕事の提供	事業主や職場の仲間の理解と協力	仕事探しから就労後までの総合的な就労支援
精神障がい者	事業主や職場の仲間の理解と協力	障がいの特性や程度にあった仕事の提供	仕事探しから就労後までの総合的な就労支援
重複障がい者	事業主や職場の仲間の理解と協力	障がいの特性や程度にあった仕事の提供	障がい者にあった就労条件が整っていること
難病患者	事業主や職場の仲間の理解と協力	仕事探しから就労後までの総合的な就労支援	障がい者に配慮した職場の施設・設備の整備
障がいがない人	事業主や職場の仲間の理解と協力	障がい者に配慮した職場の施設・設備の整備	障がいの特性や程度にあった仕事の提供

### （４）地域で生活するために必要な支援（複数回答）

身体障がい者や重複障がい者、難病患者では「在宅サービスや医療ケア等の適切な支援」が最も多く、知的障がい者や精神障がい者では「相談対応等の充実」が、障がいがない人では「障がい者への理解」が最も多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	在宅サービスや医療ケア等の適切な支援	緊急時の施設での受け入れ体制の充実	相談対応等の充実
知的障がい者	相談対応等の充実	緊急時の施設での受け入れ体制の充実	在宅サービスや医療ケア等の適切な支援
精神障がい者	相談対応等の充実	在宅サービスや医療ケア等の適切な支援	緊急時の施設での受け入れ体制の充実
重複障がい者	在宅サービスや医療ケア等の適切な支援	緊急時の施設での受け入れ体制の充実	相談対応等の充実
難病患者	在宅サービスや医療ケア等の適切な支援	緊急時の施設での受け入れ体制の充実	相談対応等の充実
障がいがない人	障がい者への理解	相談対応等の充実	企業に就職できる機会の増加

**（５）成年後見制度の利用促進に必要なこと（複数回答）**

全体として「制度の周知・広報活動の充実」と「相談窓口や相談体制の充実」が多く、知的障がい者では「成年後見人による不正防止の徹底」が最も多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	制度の周知・広報活動の充実	相談窓口や相談体制の充実	成年後見人による不正防止の徹底
知的障がい者	成年後見人による不正防止の徹底	相談窓口や相談体制の充実	保健・医療・福祉・法律等の地域連携の充実
精神障がい者	相談窓口や相談体制の充実	制度の周知・広報活動の充実	成年後見人による不正防止の徹底
重複障がい者	相談窓口や相談体制の充実	成年後見人による不正防止の徹底	制度の周知・広報活動の充実
難病患者	制度の周知・広報活動の充実	相談窓口や相談体制の充実	成年後見人による不正防止の徹底
障がいがない人	制度の周知・広報活動の充実	相談窓口や相談体制の充実	保健・医療・福祉・法律等の地域連携の充実

**（６）災害等の緊急事態発生時に困ること（複数回答・「特に困ることはない」を除く）**

身体障がい者、重複障がい者では「安全なところまで素早く避難できない」が最も多く、知的障がい者、精神障がい者、発達障がい児では「どのように対応するべきか判断できない」、難病患者では「避難所で投薬や治療を受けることが困難」、障がい児では「何が起きているか把握ができない」が最も多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	安全なところまで素早く避難できない	障がい者が生活できる環境が避難所がない	避難所で投薬や治療を受けることが困難
知的障がい者	どのように対応するべきか判断できない	何が起きているか把握ができない	避難所で周囲とのコミュニケーションがとれない
精神障がい者	どのように対応するべきか判断できない	避難所で周囲とのコミュニケーションがとれない	避難所で投薬や治療を受けることが困難
重複障がい者	安全なところまで素早く避難できない	障がい者が生活できる環境が避難所がない	何が起きているか把握ができない
難病患者	避難所で投薬や治療を受けることが困難	安全なところまで素早く避難できない	何が起きているか把握ができない
障がい児	何が起きているか把握ができない	どのように対応するべきか判断できない	周囲の人に援助を求めることができない
発達障がい児	どのように対応するべきか判断できない	何が起きているか把握ができない	周囲の人に援助を求めることができない

**（７）障害福祉サービスの利用時に困ること（複数回答・「特に困ることはない」を除く）**

全体として「サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒」と「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒	送迎などで家族負担が大きい	サービスに関する情報が少ない
知的障がい者	サービスに関する情報が少ない	サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒	サービスの供給が少なく、利用しにくい
精神障がい者	サービスに関する情報が少ない	サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒	通所先や入所先での利用者間の人間関係
重複障がい者	サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒	サービスに関する情報が少ない	サービスの供給が少なく、利用しにくい
障がい児	サービスに関する情報が少ない	送迎などで家族負担が大きい	サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒
発達障がい児	サービスに関する情報が少ない	サービス利用時の申請や手続きが難しい、面倒	送迎などで家族負担が大きい

**（８）障害福祉サービスの今後の利用意向（「わからない」を除く）**

身体障がい者、重複障がい者では「短期入所」が最も多く、知的障がい者、精神障がい者では「就労継続支援（Ａ・Ｂ型）」が、難病患者では「居宅介護」が最も多くなっています。障がい児、発達障がい児では、「放課後等デイサービス」や「児童発達支援」の障害児通所支援が最も多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	短期入所	居宅介護	療養介護
知的障がい者	就労継続支援（Ａ・Ｂ型）	短期入所	移動支援
精神障がい者	就労継続支援（Ａ・Ｂ型）	就労移行支援	就労定着支援
重複障がい者	短期入所	生活介護	日中一時支援
難病患者	居宅介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	短期入所
障がい児	放課後等デイサービス	児童発達支援	短期入所
発達障がい児	児童発達支援	放課後等デイサービス	医療型児童発達支援

**（９）これから生活するうえでの主な要望（複数回答・「特になし」を除く）**

身体障がい者と精神障がい者、難病患者では「年金などの経済的な援助がほしい」が最も多く、知的障がい者、重複障がい者では「家族がいないときに介助する人がほしい」が、障がい児、発達障がい児では「障がい者が働ける一般企業が増えてほしい」が最も多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	年金などの経済的な援助がほしい	家族がいないときに介助する人がほしい	外出しやすい環境や交通機関の利便性の向上



知的障がい者	家族がいなくて介助する人がほしい	年金などの経済的な援助がほしい	障がい者が働ける一般企業が増えてほしい
精神障がい者	年金などの経済的な援助がほしい	障がい者が働ける一般企業が増えてほしい	何でも相談できるところがほしい
重複障がい者	家族がいなくて介助する人がほしい	年金などの経済的な援助がほしい	何でも相談できるところがほしい
難病患者	年金などの経済的な援助がほしい	外出しやすい環境や交通機関の利便性の向上	何でも相談できるところがほしい
障がい児	障がい者が働ける一般企業が増えてほしい	就労継続支援事業所が増えてほしい	障がい者への理解を深めてほしい
発達障がい児	障がい者が働ける一般企業が増えてほしい	何でも相談できるところがほしい	障がい者への理解を深めてほしい

#### (10) 市の取り組みとして重要なこと（複数回答）

障がい者では「保健・医療の充実」と「生活支援の充実」が多く、障がい児では「療育、教育環境の充実」と「雇用・就業の推進」が多くなっています。

	1 位	2 位	3 位
身体障がい者	保健・医療の充実	生活支援の充実	緊急時の相談、対応の充実
知的障がい者	生活支援の充実	緊急時の相談、対応の充実	雇用・就業の推進
精神障がい者	生活支援の充実	保健・医療の充実	雇用・就業の推進
重複障がい者	保健・医療の充実	生活支援の充実	緊急時の相談、対応の充実
難病患者	生活支援の充実	保健・医療の充実	暮らしやすい生活環境の整備
障がい児	療育、教育環境の充実	雇用・就業の推進	生活支援の充実
発達障がい児	療育、教育環境の充実	雇用・就業の推進	保健・医療の充実
障がいがない人	生活環境の整備	雇用・就業の推進	生活支援の充実

## 各関係団体等ヒアリング調査結果の概要

### 1 各関係団体等へのヒアリング調査

障害者計画や障害福祉計画、障害児福祉計画の策定に関する基礎資料とするため、障がい者関係団体、障がい者関係事業所に対し、障がい福祉施策に関する課題や意見について、ヒアリングシートによる調査を実施しました。

ヒアリング調査を実施した団体・事業所は次のとおりです。

1. 障がい者関係団体（15 団体・順不同）	
岐阜県身体障害者福祉協会大垣支部	大垣市柿の木荘保護者会
大垣市手をつなぐ親の会	岐阜県腎臓病協議会西濃ブロック大垣支部
大垣市肢体不自由児・者 障害児・者父母の会	岐阜県自閉症協会西濃・大垣市ブロック
大垣視覚障害者福祉協会	パン工房ドリーム保護者会
大垣聴覚障害者福祉協会	社会福祉法人ともえ会
ひまわり学園親の会	重症心身障害児・者親の会
かななみ作業所父母の会	西濃地域精神障害者家族会いぶき会
大垣特別支援学校大垣地区 PTA	
2. 障がい者関係事業所（22 事業所・順不同）	
新生メディカル大垣営業所	大垣市柿の木荘
ジーバケアサービス	かなえ寮
ハートサービス	G C C 大垣校
チェントロマンマ	N o t o カレッジ
マミーハウス	カラーズ
大垣市社会福祉協議会ホームヘルパー室	ハーモニー大垣
大垣市立かななみ作業所	障害者支援センターけあ・わーくす大垣
林町デイセンター	相談支援事業所かがやき
大東ショートステイホーム	大垣市立ひまわり学園
スケッチハウス	N P O 法人はびりす
緑の丘	一般社団法人放課後等デイサービス Oasis

## 2 ヒアリング調査結果の概要

障がい者関係団体および障がい者関係事業所へのヒアリング調査結果のうち、主なものを掲載します（内容が変わらない程度に一部要約しています）。

### （１）障害福祉サービスや相談支援についての課題、提案、意見

#### 1. 障がい者関係団体

- ・障害福祉サービスを利用するにあたり、受付窓口等がわかりにくく、介護保険の地域包括支援センターのような機関が必要。
- ・障害福祉サービスの内容がわかる冊子や一覧表を発行してほしい。
- ・障がい者が生まれてから亡くなるまで一貫して支援してもらえるような医療・教育・保育・就労等が一体となったサービスが必要。
- ・障害児通所支援サービス事業所の充実や人員の質の向上。
- ・医療的ケアが必要な人の短期入所サービスが市内で受けられない。

#### 2. 障がい者関係事業所

- ・利用者および家族の高齢化に伴い、現在のサービスと合致しなくなっている事例が増えている。
- ・重症心身障がい者を受け入れる短期入所が少ない。
- ・計画相談とサービス現場との意思疎通がなされているか疑問。
- ・今後の障がい者数を考えても、相談支援が不足する可能性が高いが、業務量に対する補償が少ない現状では新たな事業参入が見込めない。
- ・基幹相談支援センターや委託相談事業所との連携ができていない。

### （２）障がい者の雇用や就労促進についての課題、提案、意見

#### 1. 障がい者関係団体

- ・会社側の障がいに対する理解が不十分のため、社員に向けての勉強会や、障がい者を理解する機会を設けることが大切。
- ・企業側は、障がい者理解、仕事をする上での工夫などに前向きに取り組むことやトライアルの機会を増やしてほしい。本人側は、社会に出る意欲を持ち、作業所から出て、一般就労に就く意欲を持ってほしい。



## 2. 障がい者関係事業所

- ・就労の場でも、医療的ケアなどが受けられるような仕組みが必要。
- ・法定雇用率対象企業以外の民間企業や個人企業、個人商店でも障がい者雇用の機会が増えるように、広報等を活用して小規模事業者に周知してほしい。
- ・一般就労への意欲を持たずに就労継続支援 A 型事業所を希望し、とりあえず給料がもらえるからよいという意識の人が多い中での就労支援が困難。
- ・就労支援のために、職場と職場実習の受け入れ先の開拓が必要。

## （３）障がい者の社会参加やスポーツ、文化、芸術活動についての課題、提案、意見

### 1. 障がい者関係団体

- ・市民が利用する施設等での作品展示やスポーツ交流が図られることを望む。
- ・障がいが重くなるにつれて外出することが少なくなる傾向があるため、重度障がいの方に対して、活動に参加する機会を増やす必要がある。
- ・生涯学習やスポーツなど、ボランティアの方がついており、障がい者でも参加できる場があるとよい。
- ・障がい特性を理解できるボランティアの養成が必要。

### 2. 障がい者関係事業所

- ・障がい者向けのアートコンクールが定期的で開催されると、創作活動にも目的を持って取り組むことができる。
- ・障がい者こそスポーツによる健康管理が必要。
- ・移動支援や行動援護ができる人材の確保や、ボランティアの育成に力をいれてほしい。

## （４）障がい者に関する理解や市民の意識について、日ごろ感じること

### 1. 障がい者関係団体

- ・一般市民が障がいについて知らないことが差別の要因であると思う。障がいの種類や特徴、接し方などを知る機会を幼稚園や保育園、小学校、中学校等で設ける必要がある。
- ・障がい者がどこに住んでいるのか、地域住民に認識されていない。
- ・外出時に、差別や偏見を肌で感じている。
- ・身体障がい者に比べて、知的障がい者や精神障がい者、自閉症への理解が低い。

## 2. 障がい者関係事業所

- ・障がい者が参加するイベントなどを通して意識や理解は広がりつつあるが、重度障がい者の方への理解はまだまだ不十分である。
- ・まだまだ障がい者への理解ができている状況ではない。理解しようとする壁が厚いので、寄り添いや困っている場合に声をかけてみる程度がよいと思う。

## (5) 大垣市の障がい者施策やまちづくりについて、お気づきの点、意見

### 1. 障がい者関係団体

- ・障がい者の社会参加の機会をどう作るか、さらには、障がい者が障がいを意識せずに参加できるような機会作りができるよい。
- ・障がい当事者としての役割を基本理念等に盛り込み、行政と障がい者団体が協働しての計画づくりでないと実効性がない。
- ・理解啓発のため、幼少期からの関わりが必要なので、授業の一環としてほしい。

### 2. 障がい者関係事業所

- ・小さいころからの教育や交流が必要であり、多くの人が障がい者の本当の理解者になってくれることが必要。それができると、福祉分野で働いてくれる若い人も増えると思う。福祉を守るには、人を育てることしかないと思う。
- ・地域活動支援センターの機能として、障がい者のニーズや将来の自立を考えた機能があるとよい。
- ・施設入所者の地域生活の移行という目標設定により、施設入所者を減らし、地域で生活するには課題が多い。